

NEWS RELEASE

2020年7月31日
株式会社三菱総合研究所

2020年4-6月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より8月17日(月)に公表予定の2020年4-6月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2020年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲7.4%(年率▲26.6%)と予測します。

2020年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲7.4%(年率▲26.6%)と、2009年1-3月期に記録した同▲4.8%(年率▲17.8%)を大きく下回り、遡れる1980年以降で最大のマイナス成長を予測する。国内外での新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、内需や輸出が総じて大きく減少したとみられる。

民間最終消費は、同▲6.4%と3四半期連続の減少を予測する。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、外出自粛の動きや緊急事態宣言の影響から、飲食や旅行、室外娯楽など外出を伴う消費を中心に国内消費の大幅な落ち込みを見込む。民間企業設備投資は、輸出・生産の下振れによる設備過剰感や、資金繰り懸念、先行きの経済見通しに関する不透明感の強まりなどを背景に企業の投資姿勢が慎重化したとみられ、同▲4.2%と減少を予測する。

輸出は、欧米向けを中心とする財輸出の減少や、サービス輸出に含まれる訪日外国人によるインバウンド消費の急減などを背景に、同▲19.0%と大幅な減少を予測する。輸入は、前期に大きく減少した反動もあり、同+2.8%と増加を予測する。結果として、外需の寄与度は▲3.6%ポイントを見込む。

図表 2020年4-6月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)	2019年		2020年	
	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 予測
実質GDP	0.0	▲1.9	▲0.6	▲7.4
季調済前期比年率	(0.0)	(▲7.2)	(▲2.2)	(▲26.6)
民間最終消費	0.4	▲2.9	▲0.8	▲6.4
民間住宅投資	1.2	▲2.3	▲4.2	▲2.6
民間企業設備投資	0.2	▲4.8	1.9	▲4.2
民間在庫	寄与度	▲0.3	0.0	▲0.1
政府最終消費	0.7	0.2	0.0	0.6
公的固定資本形成	1.0	0.5	▲0.6	3.7
財・サービス輸出	▲0.6	0.4	▲6.0	▲19.0
財・サービス輸入	0.7	▲2.4	▲4.9	2.8
内需	寄与度	0.2	▲2.4	▲0.4
民間	寄与度	0.1	▲2.4	▲0.3
公需	寄与度	0.2	0.1	0.0
外需	寄与度	▲0.2	0.5	▲0.2
名目GDP	0.4	▲1.5	▲0.5	▲6.3
季調済前期比年率	(1.6)	(▲6.0)	(▲1.9)	(▲22.9)
GDPデフレーター	前年同期比	0.6	1.2	0.9
国内需要デフレーター	前年同期比	0.2	0.7	0.7

注：表中の実績値は2020年1-3月期2次QE、8/3に2次QEの改定値が公表される予定だが、本予測は改定前の数字をもとに作成。シャドー部分が今回の予測値。

出所：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済研究センター 田中康就

電話:03-6858-2717 メール:macro-ml@mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部

電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp